

群馬労働局 茨木労働局 と合同で 若手の労働基準監督官を対象とした 研修を実施しました。



令和5年8月下旬、栃木労働局主催により、群馬労働局と茨城労働局と合同で、

「北関東三局若手監督官研修」

を実施しました。

この研修は、任官2年目と3年目の監督官を対象として、ブレインストーミングによる班別討議形式で実施しました。

特に、任官3年目の監督官は、今年4月に、県外から異動して来た方となるため、隣県の同期の監督官と交流し、合同で研修を実施するのは初めてであり、貴重な機会となりました。



ブレインストーミング

1950年ごろに生まれた会議手法の一つです。集団でアイデアを出し合うことで互いに刺激しあい、その場で創造的な発想を生むことを目的としています。



労働基準監督官の業務に必要な調査の手法について、それぞれの参加者が熱心に意見を出し合って、テーマに沿って討議を実施しました。ブレインストーミング形式なので、自分だけでは発想できなかった考え方に触れ触発し合うことができました。

各労働局の任官3年目監督官



各労働局の任官2年目監督官

